

<個別案件確認表（組織委員会）>

組織委員会担当確認年月日 2018.03.15

東京都作業部会確認年月日 2018.03.22

事業名 プロジェクトマネジメント

案件名 仮設オーバーレイ等に係るプロジェクトマネジメント業務委託（その2）

確認の視点	組織委員会の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> 大枠合意の通り、当該事業は会場関係の「オーバーレイおよび仮設等のインフラの整備」の一環であり、会場整備に係る共通費について、オリ経費は、会場数按分により組織委員会（国・民間所有施設分）と都（都・その他自治体所有施設分）で分担し、パラ経費は、組織委員会、都、国で、2:1:1で分担。 V2全体経費でも同様の考え方で計上されている。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意において、経費分担に関わらず、オーバーレイ、仮設等のインフラの整備を実施する役割は組織委員会が担うこととなっている。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性 <ul style="list-style-type: none"> PM業務は、仮設オーバーレイの計画的準備とその実効性を担保するためにIOCから導入を指示されており、過去大会でも同様の委託を実施し会場整備を進めている。 PM業務の目的は40会場余に及ぶ整備に関する各種戦略の企画立案および戦略を実行し、遅滞なく低コストで遂行することである。また、企画立案した戦略についてはIOCと協議を行い、確認を受けている。 平成29年度PM業務の実績。「調達戦略」としては、短期間に大量の仮設資材を用いたいオーバーレイ整備についてのマーケット説明会開催（2回実施）や地域性・会場特性を考慮した発注クラスターを立案した。また、「法令対応戦略」として国内法令（仮設建築物の許可等）を遵守するための与条件整理や調整および海外サプライヤーの製品調達に関する課題整理や対策を立案した。 平成30年度のPM業務では、29年度に立案した戦略を実施に移すことになる。業務の一例として、上期では仮設オーバーレイのDB契約前における入札参加者の工事費内訳書や資材調達手法の確認等の契約締結支援業務、下期では実施設計における各会場横断業務（CDやVE、その他事項）及び設計進捗支援を行う。 	
	効率性 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の業務量を考慮し必要人員数を積算している。人員数積算にあたっては、業務ごとにチーム編成し最小限で取り組む効率的な体制としている。 委託料積算にあたっては、国交省の定める単価、係数を用いて行っている。 	
	納得性 <ul style="list-style-type: none"> 国内において本件規模のPM業務の事例はない。 比較事例としてはロンドン大会であるが、多額のPM業務費を投じて仮設オーバーレイ施設整備を行っている。この点から鑑みると東京大会でのPM業務費は効率的である。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なるものであること	<ul style="list-style-type: none"> 大枠の合意で公費負担とされた仮設オーバーレイ整備に関する発注や実施設計の進捗支援等のマネジメント業務経費であり、公費負担の対象として適切であると考ええる。 	